

7月定例記者会見事項書

平成27年7月7日（火）午後1時～
ハイトピア伊賀 5階 学習室2

1. 市長からの発表

(1) 「2015 ミラノ国際博覧会」日本館・イベント広場への 出展報告について（資料No.1）

先月末、6月28日から30日の3日間にわたり、2015年ミラノ国際博覧会日本館イベント広場に出展いたしました。

ミラノは連日30度を超える猛暑日が続いておりましたが、連日多くの方にご来場いただき、3日間で約10,000人の方に伊賀市の魅力をPRすることができました。

出展内容、会場の様子につきましては、現地より情報提供を行っておりましたが、改めてご報告いたします。

まず、伊賀流忍者の紹介として伊賀忍者特殊軍団「阿修羅」東京支部による1日6回の忍者ショーを実施いたしました。ショーの前には私がイタリア語であいさつを行い、その後、阿修羅が忍者の技を披露いたしました。

ショーは毎回立ち見が出るほど大盛況で、毎回約200名あまりの皆様にご覧いただきました。ショーの後の忍者とのフォトセッションも大盛況で、私も多くの皆さんと写真を撮らせていただきました。

忍者の人気が高いことはある程度予想されましたが、子どもからお年寄りまであらゆる年代の方が大変興味を持ってご覧いただけたことが非常に印象的で、外国人観光客の誘致に忍者が有効であることが確認できました。

また、もう一方のテーマである食文化につきましても大盛況でした。

今回特に力を入れた伊賀の酒と万博特例で提供できた伊賀牛については行列が絶えないほど好評で、日本酒に関しては今回の出展に際して特製のガラス瓶を提供いただいた日本精工硝子の皆様が中心となり伊賀焼のお猪口で提供しました。

ワインが水代わりのようなお国柄もあってお酒に関しては非常に興味を持っていただき、製造方法や原材料について質問をいただく方が多くおられました。

また、伊賀焼のお猪口についても好評で「持って帰りたい」「売ってほしい」という方も多くおられました。

空の瓶についても、柄が日本的であるということでもほとんどお持ち帰りいただきました。

伊賀牛については、サーロインとリブロースをステーキとして提供しました。イタリアでは赤身肉が中心で、伊賀牛の霜降りは好まれないのではないかという情報もありましたが、実際は「とても甘くておいしい」「やわらかい」「本当に牛か？」という感想がほとんどでした。

なかには神戸牛を知っている人もいて、「神戸ビーフよりおいしい」という感想もいただいています。

おしもんやかたやきに関しても非常に好評で、おしもんの白餡をはじめたべた方も

多く、見た目についても「すばらしい」という評価をいただいております。

また、日本独特の風味を持つ漬物に関しては、塩辛さが少し心配されましたが、イタリア南部のトマトの酢漬けに似ているということでナポリやシシリア地方の人が好んで食べていたのが印象的でした。

今回の博覧会に、短期間ではありましたが、出展した印象としては、やはり忍者はインバウンド戦略において強力な武器になるということが確認できましたし、食に関して保守的といわれるイタリアにおいても、伊賀市の食文化が高評価を受けたことは本当に素晴らしいことだと思っております。

今回のイタリア・ミラノ万博での評価を受け、伊賀市の生産者、事業者は自信を持っていていただきたいですし、国内外を問わず積極的な事業展開を行っていただければと思います。

2. 7月の主な行事予定

(1) 「市長と語る会」の開催について（資料No.2）

日時 7月7日（火）から8月30日（日）

対象 住民自治協議会（設立されていない地域は自治会）

(2) 夏の交通安全県民運動の啓発について（資料No.3）

運動期間：7月11日（土）から20日（月）【10日間】

日時 ① 交通安全出動式 7月10日（金）午前7時30分から午前7時50分

② ミルミルウェーブ 同日 午前8時から約15分間

③ 大型店舗前での街頭啓発 同日 午後6時から

場所 ① ハイトピア伊賀前 多目的広場及び第2駐車場

※雨天の場合、ハイトピア伊賀5階 多目的大研修室

② ハイトピア伊賀前 付近歩道 ※雨天中止

③ アピタ伊賀上野店（ミスタードーナツ前付近）

(3) 災害対応図上訓練の実施について（資料No.4）

日時 7月24日（金）午後1時00分から午後5時00分

場所 ハイトピア伊賀 5F多目的室（災害対策本部）・5F学習室2（災害対策本部（員）会議）・各支所（地域対策部）

内容 状況付与者が実施者に仮想被害等を付与し、実施者が任務に応じて災害対応する机上のシミュレーション訓練を実施する。

参加 市職員：市長ほか110名、三重県職員：5名、伊賀警察署員：5名

(4) 伊賀市消防団夏期訓練（資料No.5）

日時 7月26日（日）午前8時から

場所 伊賀市立霊峰中学校グラウンド ※雨天時は同校体育館

内容 通常点検、震災対応訓練、感謝状贈呈

問い合わせ先 消防本部消防救急課（0595-24-9115）

3. その他

【主な質疑応答】

(記者) ミラノ万博出展の報告会はいつ、どこで、どのような対象で開催されますか。

(観光戦略課) 出品していただいた事業所の皆さんを主としてミラノでの商品の反応などについて説明を行いたい。時期的にはできるだけ早い段階で開催するよう現在調整している。

(市長) 感動が冷めないうちに早くしないと意味がないため、早い段階で開催する。市民の皆さんにもご興味があればぜひ、ご参加いただきたい。

(記者)

インバウンド (※1) を迎える立場として認識を持ってもらうためですか。

(市長)

今回の成果を地域住民が自分のこととして次へつなげることが大事です。

(記者)

忍者のどこが良かったですか。

(市長)

「N I N J A」の文字や言葉にも子どもから大人まで大変関心が強い。また、忍者衣装を着ていれば写真を撮られるなど、忍者ショーに対する関心の深さや熱心に見入る姿も見ました。

(記者)

今後、イタリアやヨーロッパからのインバウンドを期待していますか。

(市長)

今回は初めての試みとして石が投げられた状態であり、その波紋を市民が今後どのように活用していくかが大事です。また、ヨーロッパのみならずアジアからも来て頂きたい。

(記者)

今回の全体的な費用としてはどのくらい必要でしたか。

(観光戦略課)

まだ精算前ですが、約 1,500 万円の予定です。

(市長)

当初は市単独での予算でしたが、地方創生の国予算へ付け替えができたため、国費でほぼ全額を負担してもらえる対象となっています。

(記者)

1,500 万円の費用対効果や経済効果はありましたか。

(市長)

今後、酒や肉の輸出などを実施しないと経済効果としての実数値は未知数ですが、広告宣伝費として考えると億単位での価値はあったと思います。

(記者)

今回伊賀市から手をあげてミラノ出展したのですか。

(市長)

車のイベントでフェラーリ関連の企画があった際にお誘いを受けたため出展をさせていただきました。同規模での地方自治体での出展は大変少ないです。

(記者)

今後のイベントの予定はありますか。

(市長)

伊勢志摩サミットに向けて「萌えキャラ」のコラボがあるので、秋頃には海の幸、山の幸でフード関係のコラボなどしていきたい。詳細はこれから検討します。

(記者)

来年の5月以降の伊勢志摩サミットに向けて、インバウンドへの取組はどうしますか。

(市長)

三重県、志摩市との連携を進めていきたい。例えば、サミット会場で忍者ショーや芭蕉さん関連イベントなど、東京オリンピックに向けては手裏剣投げ競技の採用などを求めていく予定です。

(※1 インバウンド：外国人の訪日旅行)

(記者)

「市長と語る会」とはどのようなものですか。

(市長)

市民の皆さんが普段どのように考えているのかについて、特に題目を設定せずにフリートークでお話をさせてもらいたい。老若男女問わず、いろいろな方にご参加いただきたいです。

(記者)

市側は誰が参加しますか。

(秘書課)

各部長や支所長などが参加します。

(記者)

ツキノワグマの問題について、三重県では「捕殺」から「捕獲」へと方針を変更したが市長はどう思いますか。

(市長)

緊急避難的、一時的な方針変更では意味がないので、要綱の中から「殺処分」という言葉をなくす必要があります。また、住民の不安をどのように取り除いていくかが重要であり、まずはクマを捕獲、保護すること。また、クマは本来凶暴な生き物ではないので、一般の市民へクマについての正確な情報を提供する必要があります。

今回のクマの問題に関連して多くのメールや手紙などの激励をいただいたことを知事へお伝えしました。最終的には「捕殺」から「捕獲」へと方針変更したことに安堵しました。

(記者)

ミラノから帰国後は三重県に対して何か行動しましたか。

(市長)

現時点では何もしていません。三重県にはしっかりとの方針を策定してもらいたい。

(記者)

自民党の勉強会において「マスコミをつぶせ」などの発言について、元テレビ局アナウンサーとしてどのように考えますか。

(市長)

民主主義の世の中においてはありえない言動であり言語道断です。何でも発言できる健全な社会が必要です。

(記者)

内閣の支持率が落ちていますが、どのように思いますか。

(市長)

このような事態をうけて当然であると思います。

(記者)

安保法制については、どのように思いますか。

(市長)

国民、市民がしっかりと注視しなければならないと思います。

(記者)

自民党の問題発言の議員へ何か言いたいことはありますか。

(市長)

しっかりと国民の民主主義を守ってほしい。

(記者)

市民病院の医師人数について、どのようになっていますか。

(市民病院)

6月30日までは23名(嘱託医師5名含む)が21名(嘱託医師4名含む)へと減員となりました。小児科医は自己都合で一人退職したため新医師が見つかるまでの間は休診となります。もう一人の退職者は麻酔科医で自己都合です。麻酔科にはもう一人医師がいますので手術時などの対応は大丈夫です。